

函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会

【情報共有ツール】

# 『はこだて医療・介護連携サマリー』

1

2017.3.13 函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 運用のプロセス

以下の過程で運用・ツール活用の推奨を実行する

- ① サマリーの活用目的、構成、様式の決定
- ② 活用マニュアルの決定
- ③ 試験運用の実施
- ④ 試験運用のアセスメント
- ⑤ 平成29年11月からの正式運用の実現

2

函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会

① サマリーの活用目的、構成、様式の決定

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 目 的

『函館市医療・介護連携推進協議会』では“医療・介護連携”推進を強化すべく、医療・介護サービス事業者等へのアンケート調査や、意見を伺い協議した結果。情報にバラツキの無い、地域で統一された【情報共有ツール】の整備を望む意見が強く伺えた事を踏まえ、有識者等による「情報共有ツール作業部会」を設置し関係事業者等との議論も重ね、医療・介護サービスを必要としている高齢者等の情報を一元的に把握するためどの職種の方でも分かりやすく、見やすく、連携しやすい、を重視して

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』を作成。このツールを活用により、関係職種（機関）間で、より活発な連携が行われ、よりよい医療や介護サービスが提供されることを目的として活用を推奨いたします。

4

函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』

### ① サマリーの活用目的、構成、様式の決定

3

函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 運用理念

- 職種にとらわれない、分かりやすい内容  
言葉・文字の情報提供
- “各医療・介護施設内・外”の多職種連携を推進
- 連携窓口を明確にして密な情報提供と共有の徹底

5

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 活用対象者

「病院・在宅・施設」等の間で、対象者の病状や生活・環境等の変化において調整支援が必要となった

- 65歳以上の方
- 第2号被保険者で介護保険サービスを利用している方、これから利用を希望する方

6

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 活用方法

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』は、対象者の病状や生活・環境等の変化において調整支援が必要となった場合に『「医療側」・「介護側」との双方連携』において活用するものであり、**作成側(渡す側)**は各医療・介護の施設や事業所における「連携担当者」が活用対象者である利用者本人または、その家族の同意を得た上で、必要な情報を“多職種”の協力のもと、記入作成しコピーを保管。原本を**連携相手(受ける側)**に迅速に提供する。

7

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 サマリーの構成

【情報共有ツール】については「活用マニュアル」に準じて、

- ① 基本ツール
- ② 応用ツール

の2つのパターンで構成され、平成29年度からの正式運用を目指す。

8

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 サマリー① 基本ツール

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』の“フェイスシート”であり、情報共有の基本。

基本ツールの内容により [②応用ツール](#) へ関連してきます。

[様式パターン 1種類 - 1枚]

9

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 サマリー② 応用ツール

[①基本ツール](#) に記載されている「特別な医療」等を要する場合、本ツールの標準情報を記載し作成する。

[様式パターン 18種類 - 各1枚]

10

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 サマリー② 応用ツール 種類

- |             |               |
|-------------|---------------|
| ① 付帯情報管理    | ⑩ 膀胱留置カテーテル管理 |
| ② 褥瘡管理      | ⑪ 自己導尿管理      |
| ③ 認知症管理     | ⑫ 腎瘻・尿管皮膚瘻管理  |
| ④ 食事摂取困難管理  | ⑬ 人工呼吸療法管理    |
| ⑤ 自己腹膜灌流管理  | ⑭ 気管カニューレ管理   |
| ⑥ 酸素療法管理    | ⑮ 人工肛門・人工膀胱管理 |
| ⑦ 中心静脈栄養法管理 | ⑯ 感染に関する管理    |
| ⑧ 糖尿病治療管理   | ⑰ 緩和ケア情報共有シート |
| ⑨ 経管栄養法管理   | ⑱ 特記事項        |

11

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 活用場面

- 活用場面① 『**病院**⇔**在宅**』
- 活用場面② 『**病院**⇔**施設**』
- 活用場面③ 『**在宅**⇔**施設**』
- 活用場面④ 『**病院**⇔**病院**』
- 活用場面⑤ 『**施設**⇔**施設**』

12

## 活用場面① 『病院⇔在宅』

- ・ **病院**(MSW、退院調整看護師等) →→→ **在宅**(ケアマネジャー等)  
～自宅退院前等に調整が必要な場合 等
- ・ **在宅**(ケアマネジャー等) →→→ **病院**(MSW、退院調整看護師等)  
～病状の変化や、積極的治療を要する為に入院(検査は除く)加療等を要する場合 等

13

## 活用場面② 『病院⇔施設』

- ・ **病院**(MSW、退院調整看護師等) →→→ **施設**(ケアマネジャー、相談員等)  
～退院後の施設入所が決定し事前に調整が必要な場合 等
- ・ **施設**(ケアマネジャー、相談員等) →→→ **病院**(MSW、退院調整看護師等)  
～病状の変化や、積極的治療を要する為に入院(検査は除く)加療等を要する場合 等

14

## 活用場面③ 『在宅⇔施設』

- ・ **在宅**(ケアマネジャー等) →→→ **施設**(ケアマネジャー、相談員等)  
～施設入所が決定し情報提供する場合 等
- ・ **施設**(ケアマネジャー、相談員等) →→→ **在宅**(ケアマネジャー等)  
～施設入所が決定し事前に調整が必要な場合 等

15

## 活用場面④ 『病院⇔病院』

- ・ **病院**(MSW、退院調整看護師等) →→→ **病院**(MSW、退院調整看護師等)  
～病状の変化や、積極的治療を要する為に転院(検査は除く)加療等を要する場合 等
- ～リハビリや療養を目的に転院を要する場合 等

16

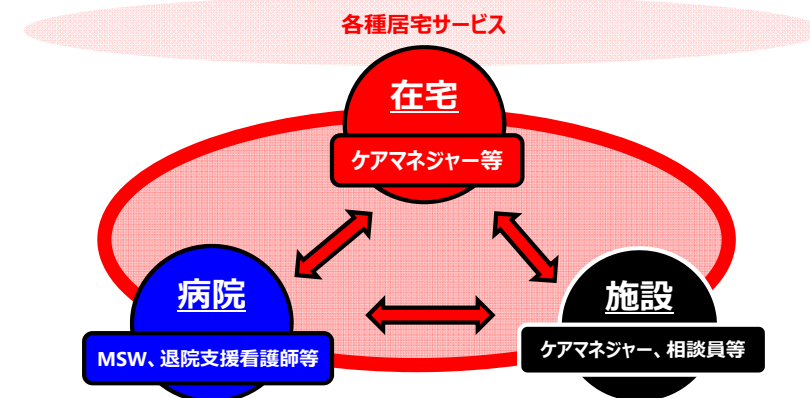
## 活用場面⑤ 『施設⇔施設』

- 施設(ケアマネジャー、相談員等) ⇔⇔⇔ 施設(ケアマネジャー、相談員等)  
～入所施設が変わった場合 等

17

## サマリー活用場面の基本イメージ

- 活用場面① 『病院⇔在宅』
- 活用場面② 『病院⇔施設』
- 活用場面③ 『在宅⇔施設』
- 活用場面④ 『病院⇔病院』
- 活用場面⑤ 『施設⇔施設』



18

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 個人情報の取り扱い

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』には、数多くの個人情報  
が含まれているので取り扱いには最大限の注意を払う。

作成・送付等に関しては必ず、活用対象者である利用者本人または、その家族  
の同意を得る事を大前提とする。

19

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』

## ② 活用マニュアルの決定

20

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 活用マニュアル

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』の活用にあたっては、幅広いツールの活用推奨し、関係職種（機関）間で、より活発な連携が行われ、よりよい医療や介護サービスが提供されることを目的として活用推奨するために、作成・管理等に関するガイドライン等を記した「活用マニュアル」を作成致します。

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 事務局

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』  
の管理や、ご意見・お問合せ、周知の窓口

### 函館市医療・介護連携支援センター

函館市富岡市2丁目10番10号（函館市医師会病院内）

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 試験運用の実施について

平成29年4月より【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』の“試験運用”を実施する。

### 【実施の流れ】

- ・3月上旬に全情報共有ツール様式確定
- ・「情報共有ツール作業部会」において、各関係団体へ事前周知を実施
- ・①基本ツール ②応用ツール を実際に活用。
- ・4月 ①病院⇒病院 ②病院⇒在宅 ③病院⇒施設 の場面で活用
- ・5月以降試験可能な病院・事業所・施設へセンターによる説明+依頼をして試験実施機関を拡大し在宅・施設含めた全場面での試験実施し、徐々に拡大していく。

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』

### ③ 試験運用の実施

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 試験運用の実施機関

試験運用を以下の事業所で実施する。

### 平成29年4月

- 函館五稜郭病院 ● 函館中央病院 ● 函館市医師会病院 で活用

### 平成29年5月以降拡大

- 他の病院へ利用打診
- 居宅介護支援事業所、地域包括支援センターへ利用打診
- ▲ ショートステイ・サ高住へ利用打診

25

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』

## ④ 試験運用のアセスメント

26

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 試験運用のアセスメントの実施

平成29年4月からの試験運用にて、ツールの「作成側」+「受取側」と双方からの意見を「函館市医療・介護連携支援センター」で集約し、課題等の抽出、内容・構成の検討を定期的に「情報共有ツール作業部会」で実施する。

### 【アセスメント実施時期】

- ・1回目 ～ 平成29年6月下旬
- ・2回目 ～ 平成29年9月下旬
- ・3回目 ～ 平成30年2月下旬
- ・以降は定期的にも実施するとして今後検討

27

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 正式運用後のアセスメント

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』のアセスメントについては、試験運用期間のみならず、正式運用後についても事務局となる「函館市医療・介護連携支援センター」により適宜実施することとして、継続して「情報共有ツール作業部会」等で協議・検討し、効率的に、効果的に、幅広く活用して頂ける様に医療・介護の多職種連携の活性化を図るため、見直しや運用方法の改善に役立てる。

28

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』

## ⑤ 平成29年11月からの正式運用の実現

## 【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 平成29年11月 正式運用開始

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』の正式運用については、試験運用による段階的な活用施設拡大を鑑みて、定期的なアセスメントを経た後に「情報共有ツール作業部会」により協議・検討した上で、平成29年10月の「函館市医療・介護連携推進協議会」へ実施報告。

各関係団体等へ広くホームページやデータ送信による様式とマニュアルの配布を実施して**平成29年11月を正式運用実施の目標**とする。